

令和2年度

実践的・体験的な学習の充実を図るための家庭科講座

(消費生活・環境編) 実施要項

1 目的

中・高等学校家庭科における専門的な知識や技術、指導法について研修を行い、実践的な指導力の向上を図る。

2 期間 令和2年11月12日(木)

3 会場 福島県教育センター (福島市瀬上町字五月田16)

4 日程・内容

時 間	内 容
9:40～9:50	受付 ※受付場所 第3棟 1階311研修室
9:50～10:00	開 会 311研修室
10:00～10:20	講 義 「家庭科教育の学習指導と指導上の諸問題」
10:30～12:00	講 義 「主体的・対話的で深い学びの実現を図る消費者教育」 東京家政学院大学 教授 上村 協子
13:00～14:10	講 義 「衣生活領域における環境教育」 茨城大学 教授 木村美智子
14:20～16:00	講義・演習 「環境負荷を考える衣生活分野の学習」 茨城大学 教授 木村美智子
16:00～16:20	協 議 「研修の振り返り」
16:20～16:30	閉 会

5 準備物等

(1) 書籍及び資料等

中学校教員

- 「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 技術・家庭編」

平成29年7月 文部科学省

- 使用教科書

高等学校教員

- 「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 家庭編」 平成30年7月 文部科学省

- 「家庭基礎」または「家庭総合」の教科書

中・高等学校教員共通

- 家庭科の年間指導計画

ア 様式等

- ・自校の形式(中学校は全学年分、高等学校は共通教科)

※右上に学校名と氏名を記入し、A4判に印刷する。

イ 提出方法

- ・受付時に12部提出

(2) 事前課題

- 協議資料

ア 様式等

- ・ A 4判縦 1 枚（下記の様式、内容でまとめる。）

学校名	〇〇立〇〇中学校（〇〇〇高等学校）	氏名	〇〇 〇〇
1 家庭科に関する指導上の課題 2 消費生活・環境分野の学習の指導において効果のあった教材、書籍、Web等 3 消費生活・環境分野の学習において、より理解を深めたいと思うこと			

※枚数は自由とする。

イ 提出方法

- ・ 10月29日（木）必着
- ・ Emailで送付（下記「8 問い合わせ先(2)研修内容について」へ送付する。）
※件名を「専門中高家庭一課題」とし、本文には所属校と氏名を入力する。

(3) その他

- 上履き
- 食費 420円

※教育センター内の食堂を全員利用するので、受付時に納入する。

6 留意事項

- (1) やむを得ず欠席・遅刻・早退するときは、所属長に連絡し、指示を受ける。
- (2) 車で来所する場合は、来所経路・駐車位置について「駐車場案内図」を事前に確認すること。
なお、駐車場に限りがあるため、乗り合わせや公共交通機関の利用に御協力ください。
※「駐車場案内図」は、教育センターWebサイトで確認すること。

7 研修講座受講後のアンケートについて

受講3か月後以降に、教育センターWebサイトの「各種様式」内のフォーム「研修講座受講後のアンケート」より研修の成果とその活用について回答してください。

8 問い合わせ先

- (1) 欠席等について（市町村立学校は、市町村教育委員会・教育事務所経由）
福島県教育センター 総合企画チーム
TEL 024-553-3193 FAX 024-554-1588
Email center-kikaku-gr@fcs.ed.jp
- (2) 研修内容について
福島県教育センター 教員研修チーム 技術・家庭科(家庭分野)・家庭科担当
TEL 024-572-4183
Email kyoin-kenshu-gr@fcs.ed.jp